

「駐車場係」、ありがとうございました

毎年、年少組の保護者の皆様が、1年間を通して「駐車場係」をやってくださっています。保護者の皆様が子どもたちを迎えに来る時間帯は、小学校の昼休みの時間ですので、小学生が校庭で元気に遊んでいます。子どもたちですから、追いかけてっこをしたり、サッカーのボールを追いかけてりして、駐車場のところまで駆け込んでくることもあります。迎えに来た車の前に飛び出したり、接触したりする危険は常にあります。大きな事故につながることもありません。



しかし実際には事故は起きませんでした。「駐車場係」の保護者の皆様の子どもたちを見守る優しいまなざしが、事故を未然に防いでいるのだと思います。

このように事故を未然に防ぐような地道な活動は、なかなか注目されません。でも、私たちの社会は、この「駐車場係」のような献身的な活動によって守られていることもたくさんあります。そういうことを忘れないようにしたいと思います。

小学校入学を前にして

3月2日(火)、年長組の子どもたちが、小学校入学を前に、小学校の授業を見に行きました。今回は、実際に1年生の教室に入って、授業の様子を見てくるというので、小学校へ行く前から、子どもたちはとても緊張していました。

でも、小学校から帰ってきた子どもたちにきいてみると、どの子もみんな「楽しかったよ。」と言っていました。子どもたちは、鍵盤ハーモニカの演奏を聴かせてもらったり、タブレットを見せてもらって、「これで宿題をやったりするんだよ。」などとお話を聞いたりして、小学校はとても楽しそうだなと感じたようです。



子どもたちは、どの子も入学をとても楽しみにしていますが、それと同時に、すごくドキドキもしています。やはり、幼小の交流の機会を数多く作ってやり、入学をワクワクして待つようにしてあげることが大切なのだ実感しました。次年度も幼小の接続を丁寧に進めていきたいと考えています。